



つなぐ、つながる
横浜能楽堂
Yokohama Noh Theater

お手頃価格の2,200円、狂言2曲を解説つきで。

横浜狂言堂 ミズキーホール編



狂言「附子」(大蔵流) 山本則重 撮影:尾形美砂子



狂言「福の神」(大蔵流) 山本東次郎

勝手に決めました 第二日曜日は 狂言の日

横浜能楽堂は令和8年6月まで休館中のため、
今回、横浜狂言堂は横浜市港北区民文化センター
ミズキーホールで開催します。

日時 令和8年2月8日(日) 午後1時半開場 午後2時開演

会場 横浜市港北区民文化センター
ミズキーホール 5階ホール

番組 お話 山本東次郎

狂言「附子」(大蔵流) 山本則重

狂言「福の神」(大蔵流) 山本東次郎

チケット料金 **2,200円** (全席指定)

令和7年11月17日(月)正午より

ミズキーホール窓口(9:00~22:00 毎月第3火曜日休館)※受付窓口は21:00まで

電話:カンフェティ 050-3092-0051(平日10:00~17:00)

WEB:<https://yokohama-nohgakudou.org/ticket/>

*車いす席をご希望の方はOTABISHO横浜能楽堂 045-263-3055までご連絡ください。



チ
お
申
込
ト
み

会
先
員
行

(お問い合わせ) OTABISHO横浜能楽堂:045-263-3055 (11:00~20:00)

主催:横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 共催:横浜市港北区民文化センター ミズキーホール

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業))独立行政法人日本芸術文化振興会

狂
言
とは

今から1200年前に中国からわたり
てきた芸能が、室町時代に形が整えられ、狂言となりました。ともに発展をとげてきた能が古典文学をとりあげた格調高い芸能であるのに対し、狂言は庶民の日常的なできごとを、笑いを通して表現します。こけいなセリフや所作(身ぶり)が特徴です。



狂言「附子」

主人は外出するにあたり、二人の召使いに〈附子〉を託して「これは吹く風に触れるだけでも死に値するほどの猛毒なので、用心しながら決して中を見るな！」と留守番を命じて出掛けます。残された召使いは怖々と見張りながらも、段々と中身が気になって…。

さて、大名と太郎冠者はどう切り抜けるのでしょうか。

狂言「附子」(大藏流)

シテ(太郎冠者)	山本	則重
アド(主)	山本泰太郎	
アド(次郎冠者)	山本	則秀
後見	若松	隆

狂言「福の神」(大蔵流)

シテ（福の神）	山本東次郎
アド（参詣人・甲）	山本則孝
アド（参詣人・乙）	山本凜太郎
後見	若松隆
地謡	山本泰太郎
	山本則重
	山本訓秀

お 話 山本東次郎

ふくのかみ 狂言「福の神」

二人の信心深い男が、毎年の大晦日の恒例で、福の神へ参詣しようと連れ立って出かけます。二人が参拝を済ませて年越しの豆をまきはじめると、笑い声とともに福の神があらわれ、二人の参詣を喜び、神酒を所望します。そして二人に、早起き、慈悲、人付き合いを大切にすること、夫婦仲よくすることを説くとともに、自分のような福の神に美味しい神酒をたくさん捧げれば幸せになること間違いないと言って、謡い舞い、朗らかに笑って帰っていきます。



若手狂言師の活動の日々を追い、その思いに迫る
「狂言の未来～第2日曜日を彩る狂言師たち～」シリーズを配信中!
ぜひご覧ください。

横浜能楽堂
YouTube
チャンネルで
公開! ▶



会場: 横浜市港北区民文化センター ミズキーホール

〒223-0052 横浜市港北区綱島東一丁目9番10号 新綱島スクエア4・5階
TEL 045-533-2360 FAX 045-533-2350
東急新横浜線「新綱島駅」直結、東急東横線「綱島駅」徒歩3分

- *ミズキーホール専用の駐車場はございませんが、ミズキーホールを含む複合施設「新綱島スクエア」が運営管理する有料駐車場がございます。詳細は「新綱島スクエア」のHPをご覧ください。
<https://shintsunashima-square.com/access/#parking>
- *内容・出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- *お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。
- *公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。
- *当イベントに関するお問合せは主催者にて承ります。会場へのお問合せはお控えくださいますようお願いいたします。